

校長室だより第 18 号（令和 8 年 8 月 10 日）

残 暑 お 見 舞 い 申 し 上 げ ま す 。

皆様、いかがお過ごしですか。夏休みも半分終わりました。「あと半分しかない。」と考えるか、「まだ半分残っている。」と考えるかは人それぞれでしょう。私は後者の考えが好きです。いや、そう思い込もうとしているだけかもしれません。

夏休みに入ったばかりのころは、あまりにも暑くて熱い天気が続き、それを「酷暑」という言葉で表現していました。千葉県に住む我々も大変なのですが、日本全国を見渡すともっと辛い地域がありました。千葉県は海沿いに位置しているので、それが幸いしたのでしょう。この先、今年の夏はどうなってしまうのかと不安になりました。

そんな矢先、熊本地方で大きな地震が発生しました。30 人以上の方がお亡くなりになり、6 千人以上の方が避難生活を余儀なくされる状況です。亡くなられた方のご冥福を祈ると共に一日でも早く日常の生活（水道・電気・ガス等のライフラインの復帰）を送ることができるようになることを祈ります。

このまま酷暑が続くのではと思われましたが、千葉県では7月末から急に涼しくなり、多少過ごしやすくなりました。それでも、就寝の際はエアコンが欠かせない毎日です。

今後、台風の接近、残暑の厳しさ等が予想されています。また、海や川での水の事故で亡くなる方が連日報道されています。事故や事件に巻き込まれないように、くれぐれもお気を付けください。

個人的なことを書かせていただきます。今年の夏は例年ほど遠出をしていないのですが、千葉県以外の山や高原を訪れると、「熊出没。注意！」という看板だけでなく、「〇月〇日早朝に 2 頭の親子と思われる熊が出没。」等リアルな情報を目にします。その看板を見ても、せっかく来たのだからと勇気を振り絞って（？）足を踏み入れるのですが……。少々大げさに書いてしまいましたが、街にも熊が訪れるのが日常化されつつある昨今。熊も人間も幸せ

に暮らすにはどうすればいいのでしょうか。人間の環境破壊が招いたことの一つなのでしょうが、考えさせられます。